

## 平成27年度全国学力・学習状況調査結果と指導改善計画〔国語〕三原市立南方小学校

## 本年度通過率

	国語A	国語B
本校	67.3	61.4
広島県	73.8	69.7
全国	70.0	65.4

## 本年度の結果について

- 国語の結果において、A問題は67.3%、B問題は61.4%の通過率となっている。この結果から、基的・基本的な内容も、活用に関しても課題があるということが分かる。特に読み取り問題にも課題はあるが、書くことについての方がより課題が大きい。
- 昨年度の課題への取組の成果（あるいは課題）  
昨年度は、発言の内容をまとめて書くこと、質問のねらいとして適切なものを選択すること、漢字を書くという点に課題が見られた。そこで次の3点①文章のキーワードをみつけ、まとめる練習をする。②友だちの発言の意図を捉えたり、意見を出し合ったりする場を多く設定する。③漢字の成り立ちや意味に深く触れさせ、漢字の面白さを味わわせるようにしてきた。  
その結果として、漢字の定着を図ることはできたが、読むこと、書くことでは課題が大きい。

## 成果と課題

## 教科学力調査から

## 【定着している内容】

- 目的や意図に応じ、記事に見出しをつける。 81.0%  
(全国通過率差+10.2%)
- 登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える。 76.2%  
(全国通過率差+15.8%)

## 【課題】

- ☆ 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く。 19.0%  
(全国通過率差-15.7%)
- ☆ 文章と図とを関係づけて、自分の考えを書く。 28.6%  
(全国通過率差-13.0%)

## 質問紙調査から

## 【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 国語の授業で学習したことは将来役に立つと思う。 85.7%  
(全国通過率差+28.9%)
- 国語の勉強は大切だと思う。 71.4%  
(全国通過率差+ 5.5%)

## 【課題】

- ☆ 読書が嫌い、あまり好きでは児童が約半数の42.8%もいる。  
(全国通過率差-15.6%)
- ☆ 授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。 14.3%  
(全国通過率差- 7.1%)

## 課題等に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- ☆ アクションプランにある課題解決学習を意識した授業づくりを行い、複数の資料や根拠を関連付けて自分の考えを持たせるなど、思考力の育成を図る。
- ☆ まずは、問題文の読み取りがスムーズにできるように、朝学習などにより細かく解説して指導していく。
- ☆ 分掌に慣れさせ、読書嫌いの課題克服のために、朝の読書活動を大切にする。なかなか読書が進まない児童には、読みやすい本、興味がわくような本の紹介をしていく。
- ☆ 自分の考えが表現できるようにすること、書くことに慣れさせるために、新聞記事を読ませ、書いてある内容に対する感想を書かせることを積み重ねる。
- ☆ 多様な言語活動を工夫していく。例えば地域のよさを活かしたパンフレット作りや、自分の考えを持たせる意見分の作成などの単元を通して、グループ学習を行い、お互いの意見を出し合ったり、質問を投げかけたりしながら、文章の内容を高めていくようにしていく。

## 平成27年度全国学力・学習状況調査結果と指導改善計画〔算数〕三原市立南方小学校

## 本年度通過率

	算数A	算数B
本校	76.5	49.1
広島県	77.7	46.7
全国	75.2	45.0

## 本年度の結果について

- 算数科の結果において、A問題は76.5%、B問題は49.1%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については県平均より下回ってはいるがおおむね定着が図られていると考えられる。また、活用は、県平均を上回り、昨年度までの取り組みの成果が出てきたと考えられる。
- 昨年度の課題への取組の成果（あるいは課題）  
昨年度は、A問題もB問題も通過率が大変よく、大きな課題は見られなかったが、朝学習等の反復練習で質や量を高めるようにしてきた。また、文章題は図をかかせるなど、文章の意味を考えて立式とさせるようにしてきた。そのため、活用問題に関しては、広島県の通過率を上回ることができた。

## 成果と課題

## 教科学力調査から

## 【定着している内容】

- 日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる。 85.7%  
(全国通過率差+10.9%)
- 正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることができる。 57.1%

## 【課題】 (全国通過率差+24.6%)

- ☆ 図形から二組の道のりがそれぞれ等しくなる根拠を見出し、その図形の性質を記述する。 23.8% (全国通過率差-3.9%)
- ☆ 見取り図と図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解している。 52.4% (全国通過率差-15.2%)

## 質問紙調査から

## 【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 授業で新しい問題に出あったとき、それを解いてみたいと思う。 61.9%  
(全国通過率差+ 9.2%)
- もっと簡単な方法がないか考える。 66.7% (全国通過率差+19.8%)

## 【課題】

- ☆ 授業の内容があまりよく分からない。 23.8% (全国通過率差-10.2%)
- ☆ 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解することがあまりできていない。 23.8% (全国通過率差- 9.3%)

## 課題等に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- ☆ アクションプランの授業を意識し、思考力を育む指導内容となるよう工夫する。そのために本校の研究テーマを推進し、算数科での個人思考、集団思考を必ず毎時位置づけて授業を行う。
- ☆ 算数科の問題を解いてみたいという意欲は高いので、その意欲を活かし自力で問題にチャレンジし自信を持たせるために、児童一人一人に合ったステップを確立するための授業改善を図る。
- ☆ 公式やきまりを導き出す過程を大切にする授業を行う。そして、導き出した公式には意味があること、言葉、図、式、数値、グラフ等と関連づけながらしっかり考えさせたり、説明させたりする活動を数多く仕組む。
- ☆ 各学年における課題克服を明らかにする。特に図形の定義や性質公式などは確実に定着させておく。
- ☆ 反復練習も大切にし、単元が終わってからも繰り返し復習をさせるようにする。

## 本年度通過率

	理科
本校	57.9
広島県	63.2
全国	60.8

## 本年度の結果について

- 理科の結果において、57.9%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容についても、活用に関する課題があることが分かる。区分から見れば「物資」、評価の観点から見れば「観察・実験の技能」に関する課題が大きい。

## 成果と課題

## 教科学力調査から

## 【定着している内容】

- 振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適応できる。81.7%  
(全国通過率差+24.5%)
- 電磁石と磁石の同極が退け合う性質を振り見が左右に等しく揺れる仕組みに  
適応できる。76.2% (全国通過率差+13.0%)

## 【課題】

- ☆ メダカの雌雄を見分ける方法を理解している。61.9%  
(全国通過率差-16.1%)
- ☆ 植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して  
その内容を記述できる。28.6% (全国通過率差-10.4%)

## 質問紙調査から

## 【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 自然の中で遊んだことや、自然観察をしたことがある。90.5%  
(全国通過率差+24%)
- 学習したことを生活の中で活用できないか考える。52.4%  
(全国通過率差+15%)

## 【課題】

- ☆ 理科の授業はあまり好きではない。28.6% (全国通過率差-17.5%)
- ☆ 理科の授業で自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしている。  
14.36% (全国通過率差-8.4%)

## 課題等に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- ☆ 課題に対する予想、実験方法を考えさせ、何を調べるための実験なのかを把握させてから実験に取り組みせ、結果と考察をまとめさせるようにする。
- ☆ 観察に関する課題が大きいので、漠然と観察をさせるのではなく、観察する視点を与え、微妙な変化をつかめるようにさせる。
- ☆ 実験道具の名称や使い方など、必ず体験させて覚えさせるようにする。
- ☆ 普遍的な仕組みや性質については、各学年で定着させるために、ノートにきちんと書かせ、たびたび反復させて定着を図る。
- ☆ 同じ内容の問いでも、問い方が変わると答え方が分からなくなることがあるので、多くの問題にあたらせるようなドリル学習にも取り組む。